

新しい風

No. 129

2023.11.15

Take Free

渋沢栄一と北区王子の産業遺産



新一万円札発行
**カウントダウン
プロジェクト**



北区では、令和6年7月に20年ぶりに紙幣デザインが改刷され、区ゆかりの偉人である渋沢栄一翁を肖像とする新紙幣が発行されることを受け、公民連携により渋沢翁の精神及び区の魅力を全国に発信するとともに、新一万円札発行の機運醸成を図ることを目的に「新一万円札発行カウントダウンプロジェクト」を始動しました。



東京北区渋沢栄一
プロジェクト
広報キャラクター
しぶさわくん

渋沢栄一翁の考えや活躍を現代に伝えるためにやってきた存在。シルクハットとステッキがトレードマーク。学ぶことが大好き！産業遺産についてみんなと一緒に楽しく学びたい！！

渋沢栄一が新一万円札に！

2024(令和6)年7月前半をめどに、新紙幣が発行されます。財務省は「傑出した業績を残し、新たな産業の育成といった面からも日本の近代化をリードして、大きく貢献した」との理由から、渋沢栄一を新一万円札の肖像に選びました。

日本資本主義の父

渋沢栄一は、1840(天保11)年、現在の埼玉県深谷市の農家に生まれました。24歳で一橋慶喜(15代将軍徳川慶喜)の家臣となり、27歳でフランスに渡航して欧州の先進技術や社会経済制度などを学びました。帰国後、29歳で明治政府民部省へ出仕し、貨幣制度、銀行制度の立案などに関与。33歳で官僚を辞め実業界に進出し、約500社にのぼる銀行や株式会社などの創立・育成に尽力しました。さらに約600もの福祉・教育などの社会公共事業に携わり、民間外交にも大きな貢献を果たしてきました。1931(昭和6)年、多くの人に惜しまれつつ、91歳でこの世を去りました。



渋沢栄一
(1840~1931)
出典：近代日本人の肖像

王子に抄紙会社を設立

1873(明治6)年、栄一は印刷物の普及を図るため、「抄紙会社」(現：王子ホールディングス(株)及び日本製紙(株))の設立を主導します。1875(明治8)年には王子村に工場が開業し、ポロ布を原料とした洋紙生産を開始しました。明治通り沿いの工場跡地には、今も「洋紙発祥之地」の碑があります。

また、紙幣の国産化を目指した明治政府は、1871(明治4)年に大蔵省内に紙幣司(後の紙幣寮、現：国立印刷局)を設け、4年後には紙幣寮の中に抄紙局(後の抄紙部)を立ち上げました。王子村に銀行券用紙製造工場の建設を決定し、1876(明治9)年に抄紙局工場が竣工。翌年、国産第一号となる近代的な紙幣が誕生しました。



抄紙会社開業式(紙の博物館 所蔵)



洋紙発祥之地記念碑

区民が北区の魅力をご案内(東京都北区観光ボランティアガイドから)



東京都北区観光
ボランティアガイドの会
上野基次 会長

— ボランティアガイドになったきっかけを教えてください。

2008年頃、三鷹市の井の頭公園に行った時、太宰治に関するガイドをやっていたのを見て、面白そうだなと思っていました。しばらくして「北区ニュース」でボランティアガイド募集の案内を見つけて、すぐに応募しました。私は第1期生なんです。

— ガイドコースはゼロから作ったのですか。

地域ごとに観光ポイントになるようなところをリストアップしました。みんなで話し合い、実際に回ってコースを作りました。最初は赤羽・王子・西ヶ原の3コース。その後、田端・豊島・浮間など少しずつ増やしていき、現在は10コースあります。

— 参加者の反響が大きいコースは？

やはり、10番目にできた「渋沢栄一の足跡を訪ねて」です。元々、王子と西ヶ原のコースにも旧渋沢庭園が組み込まれていましたが、新たに人物をテーマにしたガイドコースを作りました。渋沢栄一は大河ドラマにも取り上げられていますので、非常に人気です。区内だけでなく埼玉県など近隣地区からも多くの人たちに参加いただいています。

— どんな時にボランティアガイドをやっていてよかったと感じますか。

私は北区に住んで60年以上になります。当たり前になっていたのか、これまで北区の良さを感じたことがありませんでした。もちろん飛鳥山も渋沢栄一のことは知っていましたが、詳細までは知っているわけではありません。でも、ボランティアガイドをやりながら学んでいくうちに、北区は実は魅力的な街なんだと気づきました。

— これからガイドに参加する人にメッセージをお願いします。

北区の赤羽は「センベロ」のイメージが強いですが、飲み屋街だけでなく、その他のエリアにも歴史と文化、豊かな自然が残っています。実際にコースを回って「思っていたイメージと違って面白い」と感じてもらいたいです。1つのコースに参加した後、「次は違うコースに行ってみたいな」と思ってもらえたら嬉しいです。



観光ボランティア
ガイド利用案内



⑩ 渋沢栄一の足跡を
訪ねて

教科書も和紙から洋紙へ

1890(明治23)年頃から、紙の原料はボロ布から木材パルプに変わっていきます。1903(明治36)年、小学校教科書の国定制度が確立し、段階的に国定教科書に統一されました。国定制度によって教科書の用紙は和紙から洋紙に切り替わりました。

王子の施設が近代化産業遺産に認定

2007(平成19)年、経済産業省「近代化産業遺産群33」の一つのストーリーとして、北区王子にある5箇所が近代化産業遺産に認定されました。

渋沢史料館(晩香廬/青淵文庫)

飛鳥山の旧渋沢邸跡に建ち、栄一の生涯の実績に関する資料を収蔵・展示しています。晩香廬は、内外の賓客をもてなすセプションルームとして使用された洋風茶室。青淵文庫は書庫として建てられ、接客の場としても利用されました。

紙の博物館

和紙・洋紙を問わず、紙に関する資料を保存・展示する紙専門の博物館。紙の製造工程、種類や用途、紙の歴史、紙の工芸品、歴史的資料や生活用品などを常設展示しています。

国立印刷局王子工場(お札と切手の博物館)

お札や切手の歴史と技術を学べる博物館。1階は偽造防止技術の歴史について展示。2階では歴代のお札や切手を展示するほか、世界のお札や切手も多数展示しています。

国立印刷局東京工場(旧滝野川工場)

本館は1931(昭和6)年に落成され、お札や官報等製品、諸証券類を製造。上空から見ると、Printing(印刷)の頭文字Pの字形になっているのが特徴です。2016(平成28)年、工場見学施設をリニューアルオープンしました。



国立印刷局東京工場 提供: 国立印刷局



国産第一号の近代的な紙幣 提供: お札と切手の博物館

東書文庫(東京書籍株式会社附設教科書図書館)

1909(明治42)年、国定教科書を翻刻発行する会社として、東京書籍株式会社が設立されました。東書文庫は1936(昭和11)年に開館した日本初の教科書図書館です。鎌倉時代から現在までのおよそ16万点を所蔵。1999(平成11)年、アール・デコ様式を取り入れた建物が「東京都北区指定有形文化財(建造物)」に指定されました。



国定以前の教科書 1873(明治6)年



国定時代の教科書 国定1期 (明治37~42年)

提供: 東書文庫(東書文庫ホームページ「所蔵資料の概要」掲載)

日記から渋沢栄一の素顔に触れる (地域資料専門員から)

— 地域資料専門員とは、どんな仕事をしているのですか

地域についてのレファレンス(利用者の問い合わせに応じ、図書館の紹介や検索をすること)で、北区について聞きたいことを受け付けています。一番多いのは不動産会社からの地歴調査で、次いで郷土史家からの質問。それ以外では、家を取り壊す際に出てきた古い資料などの問い合わせもあります。戦争中の国債や軍隊手帳など、捨てていいのかわからないといった相談があり、そのような古いものを預かっています。これまで、「神風」と書かれた日の丸の鉢巻や、飛鳥山に計画されていた防空壕の図面などが出てきました。

— 中央図書館では「北区の部屋だより」を毎月発行しています。どのように書くテーマを決めているのですか。

私と保垣孝幸氏の2人で執筆しています。日常業務のなかで新しい資料が出てきたら、そのことについて書きます。毎日いろいろなレファレンスがあるので、自分でも知らなかったことを調べていると、新しい発見があります。そのことについて書くことが多いですね。お客さんからの質問には、ネタがたくさん詰まっています。

— 渋沢栄一に関する資料はどのくらい保管されているのですか。

関連書籍だけでもかなりあります。そのなかで研究に使えるのは伝記資料です。全部で何十巻もあるのですが、デジタル化されているのでネット検索もできます。「北区の部屋だより」でも何度も取り上げてきました。

— 資料を調べるなどして、渋沢栄一に対する印象は変わりましたか。

一般的なイメージだと大御所の財界人です。しかし、王子の青年団の大会に来たとか、地域の会合に来てこんな話をしたとか、結構、地元の方の日記に普通に出てくるんです。滝野川の町長や警察署長と一緒に写真を撮ったり、地元の人たちに溶け込んでいたのがわかります。当時の人の日記から渋沢栄一の素顔を垣間見た気がします。そんなこともあって、私の中では「日本資本主義の父」より「地元の渋沢さん」というようにイメージが変わりました。

— 最後に区民へのメッセージをお願いします。

古い紙でできたものを捨てるかどうか迷ったら連絡してください。日記や手紙は個人的なものだから、世の中の役に立たないと思われがちです。しかし、先ほどの青年団長の日記のように、そこから当時の様子が浮かび上がります。区民が世の中をどう見ていたか、行政資料にはないことが書いてあります。こうした資料を次世代に残していきたいですね。



北区立中央図書館「北区の部屋」地域資料専門員 黒川徳男 さん



「北区中小企業原油価格・物価高騰対策緊急資金、新型コロナウイルス感染症対策緊急資金借換資金」の融資あっせん

増加した債務の返済に苦慮する中小企業者の返済債務の軽減を図るため、北区原油価格・物価高騰対策緊急資金、北区新型コロナウイルス感染症対策緊急資金を対象とした借換資金の融資あっせんを実施しています。

【受付期間】

令和6年3月29日（金）まで

【融資条件】

1. 融資限度額 2,000万円（注）
2. 融資期間 10年以内（据置期間12か月以内を含む。）
3. 資金使途 運転資金
4. 融資利率 1.9%以内
5. 利子補給 1年目 1.9%（本人負担0%）
2年目以降 1.5%（本人負担0.4%以内）
6. 信用保証料 半額補助

注 原油価格・物価高騰対策緊急資金及び新型コロナウイルス感染症対策緊急資金は共通枠とする

【あっせん条件】

- ・基本条件を満たし、「北区原油価格・物価高騰対策緊急資金」、「北区新型コロナウイルス感染症対策緊急資金」のいずれか又は両方を本融資により返済すること
- ・返済条件となる全ての融資の元金返済を当初の約定どおり6か月以上継続して行っていること
- ・原則として、あっせん先金融機関は返済条件とする資金の融資残高がある金融機関（融資残高が本店にある場合は当該本店、支店にある場合は当該支店）に限るものとする

※あっせん条件や申込必要書類の詳細については
北区ホームページをご覧ください。



問い合わせ

北区産業振興課経営支援係 Tel：03-5390-1237

音無かわどこ舞台

今年は和^わと踊^{おど}ろく舞台になりました。

300年の歴史に思いを馳せる、音無川床第2弾「音無かわどこ舞台」を開催いたします。

今年は「王子の狐」をテーマに、川床を舞台として北区王子そして日本の伝統文化の発信の場として活用する新しい試みです。

日本文化や伝統文化を体験できるワークショップや王子の狐伝承をテーマとした「王子稻荷きつね田楽」のほか日本舞踊や落語をご鑑賞いただけます。

舞台を実施していない時間は、川床に座席をご用意



いたします。（有料：1名500円 次の舞台が始まるまで）

北区王子の老舗・名店や、和風なメニューを提供する飲食販売テントやキッチンカーが出店しております。北区ならではのお食事を、川床にてお召し上がりください。

江戸時代、石神井川は景色を眺めながら過ごす観光地として庶民に親しまれてきました。ぜひこの機会に皆様のお越しをお待ちしております。

開催場所

・音無親水公園 JR王子駅北口より徒歩1分

開催日時

11月11日以降の土日（11、12、18、19、25、26）
いずれも11：00～17：00

主催：一般社団法人東京北区観光協会

後援：東京都北区、東京商工会議所北支部、王子法人会、城北信用金庫

共催：株式会社オフィス・ダンサブル

問い合わせ先：一般社団法人東京北区観光協会

Tel：03-5390-1166



発行：北区地域振興部産業振興課

〒114-8503 北区王子1-11-1 北とぴあ11階 Tel：03-5390-1234 Fax：03-5390-1141 <https://www.city.kita.tokyo.jp/>

No.129 令和5年11月15日号（年3回発行 7月/11月/3月）刊行物登録番号：5-2-003 制作：サンケイ総合印刷株式会社